

先輩から学ぶキャリア教育～進路座談会から～

5月27日（金）の5校時、「ようこそ先輩」～西高OBと語る進路座談会～と題して、本校卒業生の方々から、仕事や生き方について直接お話を聞いていただきました。全校生徒が20人ほどの5班に分かれて、足立有梨さん（平成27年度卒業：神戸学院大学2回生）、余田由未佳さん（平成26年度卒業：丹波ケーブル株式会社勤務）、足立哲さん（平成4年度卒業：東洋電機株式会社勤務）、十倉哲夫さん（Uターンで丹波市在住：丹波市地域おこし協力隊）、清谷啓仁さん（Iターンで丹波市在住：丹波市地域おこし隊）の5人の講師の方々を囲み、座談会形式で実施しました。それぞれの講師の方には、大学生活や現在の仕事の内容、社会人として働くことについて等のお話を聞いていただき、その後で生徒の質問にていねいに答えていただきました。



「人の話をしっかりと聞くこと」、「聞いて内容を理解すること」、そして自ら「質問して理解を深めること」。これは大切な学習スキルであり、高度でより主体的な「学び」が要求されます。大学や社会に出てからは、「わからないから質問する」のではなく、「もっとわかりたいから質問する」のです。実は、内容がわかっていないと質問はできません。質問できるということはしっかりと学んでいるということです。「学問」とは、文字通り「問い合わせ」「学ぶ」ことなのです。

地域で活躍する先輩から直接学ぶことで、生徒が社会に出て働くということを具体的にイメージし、自らの進路について考えることができる貴重な機会になりました。5人の講師のみなさん、生徒に貴重な学習の機会を与えていただき、ほんとうにありがとうございました。

以下、参加した生徒の感想の抜粋です。

- ・大学に進学したいろいろな学科やいろいろな部活動があって、とても楽しそうだと思いました。まだ進路については迷っているけど、今回の話はとても参考になりました。話が聞けて、本当によかったです。（2年女子）
- ・高校生のうちに夢や目標を持って臨んでいきたいです。今回は話を聞いて本当に良かったと思いました。元気に明るく生活できるようにしていきたいです。（2年男子）
- ・先輩の話を聞いて思ったことは、言葉づかいを大切にし、コミュニケーションも大事にすべきだと思いました。勉強も大事だけど、友だちを大切にし、あきらめないことも大事にしたいと思いました。（1年女子）
- ・とても興味深いお話でした。夢や目標を持って仕事をすると仕事の意識が変わることや、高いモチベーションを持つこと、仕事と休日のメリハリをつけることなど、いろいろなことを教わりました。また「返事がいい・粘り強い・簡単にへこたれない」の3つを守れるように頑張りたいです。（3年男子）

（校長 高橋信之）